

よろこび

聖徒のための情報誌

今月号の内容

末吉観道会長のご挨拶
 聖徒さんご紹介(1面)
 全国各地の「一日伝道」(2面)
 新年のご挨拶(3・4面)
 日蓮大聖人の歩まれた道
 よろこび歳時記(5面)
 全国のよろこびちゃん
 よろこび法話(6面)

平成28年(2016年)1月1日(金)
1月号

発行所
 〒101-0051
 東京都千代田区神田神保町3-25-11
 九段中央ビル702
 日蓮宗霊断師会九段事務所
 電話 03-6272-9340
 FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 末吉 観道
 編集人 松本 恵昌
 購読料 1部 100円(税別)
 毎月1回1日発行
 日蓮宗霊断師会ホームページ
<http://www.yorokobi-reidanshikai.jp>
 よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

新年のご挨拶と会の抱負



日蓮宗霊断師会 会長
 富山県富山市利生寺聖徒団団長
末吉 観道



日蓮宗霊断師会 本部長
 愛知県名古屋市中成寺聖徒団団長
天野 行淳



日蓮宗霊断師会 霊断院 副院長
 栃木県さくら市妙福寺聖徒団団長
野澤 壯監

平成二十八年の新春を迎え、謹んで全国聖徒各位の弥栄を祈り、全国聖徒団の輝かしい将来を寿ぐものであります。「春の初の御悦、木に花のさくがごとく、山に草の生出(おいしいずる)がごとし我人も悦入候」とご聖訓に示されますように、新春を寿ぐことは、より良き生活、より高き幸福を望む私たちの心の率直な表れです。この心こそが人類の文化を築き上げてゆく原動力で、心のエネルギーです。

そして年頭に明るい希望を抱き、その希望に向って努力を決意する心こそ人間のもつ特権です。この特権を正しく行使し維持し続ける者は、人生の成功者であり、文化の建設者であります。全世界では多くの人々が、不安と混乱の中に日々生活しています。この時代の要請に応え得る唯一のものは、日蓮大聖人の法華経信仰です。

私たち聖徒は、本年も俱生神月守をしつかり着帯し、四誓の願行に精進しましょう。それが人間のもつ心の特権を正しく行使し維持し続けることなのです。

新春のお慶びを申し上げます。昨年は私たちがとって大きな節目の記念大会として無事盛大裡に催され、また創立六十周年報恩法要、行道院日煌上人第五十遠忌法要も厳修されました。

その折に、芝崎日顕終身名誉会長より「佛が佛業を行じている所は浄土であり、浄土に居住するものは佛です。その事実を立証するには霊断師各聖を中心に、同信同行の聖徒と共に、小さくても総和の大曼荼羅界を実現すること以外にあり得ないと信じています。」のご挨拶を頂きました。

これらの節目を託された私たちは祖願成就の担い手たる自覚を大なるものにする事ができました。

節目に勝る年にすべく、総和の大曼荼羅界を築いていくのです。折しも本年は申年。申年は古来、果実が成熟し固まってく状態を示してまいりました。節目であった昨年に咲かせた花を、お題目の信唱受持で立派な果実にしてまいりましょう。

平成二十八年を迎え、全国の聖徒の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年の干支(えと)は丙申(ひのえさる)です。漢字そのものの意味合いで観てみると、丙は明らかという意味があります。十干は樹木の成長に例えられ、丙は甲・乙に次ぐ三番目です。すから、伸びて形が明らかになって来る時期を意味します。申は呻く(うめく)という意味で、これも樹木の成長に例えると果実が熟して固まっていく状態を表しています。したがって丙申という年は、今まで地道に頑張ってきたことが認められ、その成果が形となって表れて来る年になると考えることが出来ます。

しかし現実の人生は山あり谷あり。悪いことばかり良いことばかりではありません。

幸福な人生を実現するためには、法華経とお題目の信仰を持ち・行い・護り・弘める人を、仏様は必ず見守りお導き下さるといふ信念を抱くことが大切です。

そして、今年一年が充実した素晴らしい年になるよう、大きな願いが成就するよう、僧俗一体一緒に精進して参りましょう。

第51回「身延大会」予告
 平成28年10月9日(日)・10日(月・祝)

今年の身延大会は 十月に開催します!!

来年の身延大会(第五十一回大会)に参加を予定する聖徒団の皆様は、宿泊先である宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。

宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。

青森県北津軽郡 青森市 妙法寺聖徒団 (山田泰仙団長)
 青山行弘さん(左)・青山昭江さん(右)

全国の聖徒さん紹介
 青森県北津軽郡 妙法寺聖徒団 (山田泰仙団長)
 青山行弘さん、青山昭江さんご夫婦

町のおふくろの味

この度、紹介させて頂きますのは「居酒屋かあちゃん」を経営されているご夫婦です。美味しく、また懐かしくもある料理を目当てに、仕事終わりの農家の方や家族連れの方で、日々賑わいが絶えません。

お店の雰囲気もとても居心地がよく、つい長居してしまうお客さんもいるそうです。どのようなお店を目指しているのかお聞きしたところ、「知らない人とても話し合い笑い合える、大家族が集まったような、店を続けていきたい。」と、話されていました。青森県の北津軽までおこしの際は、一度足をお運び下さい。

通信員 山田瀧仙

津軽宇田山 間法寺

1月16日(土) 午前9時半より
 「正月御本尊祭」
 1月31日(日) 「感運祈願会」

〒030-1403
 青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
 TEL 0174-25-2712
 住 職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
 菊地千代子

1月1日(金)午前0時 元朝参り
 1月9日(土)午前11時 年頭会
 毎月1日午前10時 感運祈願会

北海道妙正寺聖徒団
 〒071-1423
 北海道 上川郡東川町東町2丁目6-3
 TEL 0166(82)2714
 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
 美濃乃國
常唱寺 聖徒団

〒501-3734
 岐阜県美濃市千畝町2738-2
 TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺
 山佐野

天目聖人御報恩 平成屋根等大改修 寄付募集中!

●郵便振替
 口座番号 00180-6-267327
 口座名義 妙頭寺建設委員会

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
 TEL 0283-22-1524
 FAX 0283-22-4194
<http://www.sano-myoukenji.jp>

日蓮宗霊断師会終身名誉会長
 感通寺聖徒団団長
新聞 智雄

〒162-0044
 東京都新宿区喜久井町39
 TEL 03-3209-8782
 FAX 03-3208-7966

全国聖徒団で御会式大法要に併せ一日伝道を開催

今年も宗祖日蓮大聖人御会式大法要(第七三四遠忌)に併せて全国の聖徒団で一日伝道が開催された。

宮崎県	龍雲寺聖徒団	吉田憲由団長	十月三日
島根県	妙蓮寺聖徒団	田平義成団長	十月十五日
東京都	感通寺聖徒団	新聞智雄団長	十月十八日
愛知県	常泉寺聖徒団	矢島文昭団長	十月十八日
静岡県	朝善寺聖徒団	工藤堯顯団長	十月二十四日
愛知県	本成寺聖徒団	天野行淳団長	十月二十五日
栃木県	妙顯寺聖徒団	齊藤朋久団長	十月二十五日
岩手県	仙寿院聖徒団	芝崎恵應団長	十一月一日
島根県	祐宗寺聖徒団	堀江泰誠団長	十一月四日
愛知県	本覚寺聖徒団	伊藤守温団長	十一月七日
栃木県	妙福寺聖徒団	野澤壯監団長	十一月八日
島根県	妙歳寺聖徒団	綿貫英承団長	十一月九日
東京都	長栄寺聖徒団	光枝浩生団長	十一月十二日
北海道	照恵寺聖徒団	品田祥皓団長	十一月十五日

本部で研修を受けた講師陣が全国の聖徒団に出向して富樓那(ふるな)の弁を振るつた。その一部を紹介する。

縁に導かれて

十月三日、宮崎県都農町・龍雲寺聖徒団(吉田憲由団長)において一日伝道が開催され、本部より新聞信應講師が出向した。

今年で八回目になる新聞講師の法話を百人を越す聖徒が楽しみに待ちわびていた。「人は縁(えにし)に導かれて幸せになっていく。それを良い縁に繋げてくれるのが「俱生神月守」。未来を切り開いてくれるのが「九職靈断法」です。」と自分の体験を語りながら、時には涙あり笑いあいの法話の中、「その時その時の縁を大切にしながらお題目を唱えながら生きていくことが大事です。」と結ばれた。聴聞された聖徒さんは「本



優しく信仰を語る新聞信應講師

しみにしています。お話を聴いて偶然かと思っていた全てがご本仏様が与えてくださった仏縁だったんだと思うと色々なことがスッと染みこみました。今回の感動を忘れずこれからも人生を大切にしながら月守を肌身離さず着せし信仰を続けて参ります。遠くからありますがどうぞよろしくお願いいたします。」と話されていた。

感謝の気持ちが大切です

十一月四日、島根県・祐宗寺聖徒団(堀江泰誠団長・島根県会長)にて御会式に併せて一日伝道が開催された。本部より蔵本知宏講師(副本部長・聖徒部長)が出向し五十六名の聖徒の前で優しく信仰を語った。蔵本講師は前・島根県宗務所長であつたことから、特に聖徒の皆さんも心やすくお話を聴聞することが出来た。

法話では、ご自分の体験から、僧侶としてお寺に帰る間もなくして起こった大洪水の災害をお題目の信仰で乗り越えて来られたことや、今までに縁あつて出会つた方々の信仰体験を優しく語り、ご本仏



聴聞者を惹きつける蔵本講師の法話

様のご守護の力、感謝の心の大切さを分かりやすく伝えた。最後に一人でも多くの人に俱生神月守のご加護を受けていただきたいと、講師自身が行つて来た布教の法を伝え、参加した聖徒は熱心に拝聴し、信仰を学び感動の一日伝道は幕を閉じた。

俱生神月守を

家族みんなで持ちましょう

十一月七日、名古屋市・本覚寺聖徒団(伊藤守温団長)にてお会式法要に合わせ一日伝道が開催され、本部より吉田憲由師が出向した。



聖徒を包み込むように語る吉田講師

今回のお会式法要は、聖徒が作成した絵画や刺し子などの作品が本堂内に展示され、また法華和讃や日本舞踊の発表と、聖徒が日々練習していることを奉納する形で厳修された。団長は、「趣味や習い事をするなど、日々楽しく生活できるのはお祖師さまのおか

げ。そのご恩への感謝を直接お祖師さまへお届けしようと思ひました。」と、今回の法要が行われた経緯を語られた。一日伝道では、吉田師が出向されて、その中で出会つた靈断法・俱生神月守のありがたさを語り、涙を流し法話に聴き入る聖徒の姿も見られた。

初めての一日伝道開催

10月24日、静岡県伊東市・朝善寺聖徒団(工藤堯顯団長)で、御会式法要に併せて初めての一日伝道が開催された。



伊藤団長を囲んで法要前にみんなで楽しいお食事



初めての一日伝道に気持ちを新たにする聖徒



御会式の参拝者を迎える聖徒団手作りの灯籠

一日伝道初出向・伊藤秀温講師

十月二十五日、名古屋市・本成寺聖徒団 天野行淳団長(本部・副本部長)に於いて、日蓮大聖人第七三四遠忌 御会式大法要に併せて一日伝道が開催された。



初々しくも有難い伊藤秀温講師の法話

先ず天野団長導師の下、聖徒団全員で日々のご守護に感謝し、これからのお題目信仰・布教を誓い気持ちを新たにしました。法要の後には本部の一日伝道の講師になられたばかりの伊藤秀温講師が初転法輪として、初めての一日伝道の説教台に立った。少し緊張しながらも今まで学んできた教えをもとに自身の体験談を交えながら分かりやすく信仰を語った。

本年、本成寺副団長・天野行祐上人が日蓮宗大荒行に入行することもあり、伊藤師自身の荒行での体験を通し、「自身が修行をやり遂げたのは、外で無事を祈つてくださる人がいたおかげ。自身の気持ちとみなさんの気持ちがひとつになったとき、苦しい修行もやり遂げられる。そのような姿になれるよう無事を祈り日々を過ごしていただきたい。」と語った。一日伝道後には、出発を控えた行祐上人と聖徒達が、これからの期待と不安に心を寄せ合い、涙で別れの挨拶をする姿が見られた。

明けまして おめでとうございませす

～日蓮宗靈断師会～

日蓮宗靈断師会終身名誉会長
感通寺聖徒団団長

新間 智雄

副団長

新間 正興

〒一六二〇〇四四
東京都新宿区喜久井町三九
TEL〇三三三〇九一八七八二
FAX〇三三三〇八七九六六

日蓮宗靈断師会終身名誉顧問
妙本寺福德聖徒団団長

吉田 亮善

〒六九一〇〇四二
島根県出雲市十六島町二五二
TEL〇八五三一六六〇五六八
FAX〇八五三一六六〇五七一

日蓮宗靈断師会会長
利生寺聖徒団団長

末吉 観道

副団長

末吉 正道

〒九三〇〇〇五五
富山県富山市梅沢町三一六一〇
TEL〇七六四四二一八七七六
FAX〇七六四四二一八二五〇

日蓮宗靈断師会副会長
真浄寺聖徒団団長

建 光行

〒八七一〇七二六
大分県中津市山国町中摩六三一五
TEL〇九七九一六二二七三六
FAX兼用

日蓮宗靈断師会副会長
正蓮寺聖徒団団長

大塩 孝信

副団長

大塩 裕孝

〒二九〇〇一五
千葉県市原市瀬又二三四一
TEL〇四三六五二〇二〇七
FAX〇四三六五二二二八八

日蓮宗靈断師会名誉会長
仙寿院院首

芝崎 惠璋

日蓮宗靈断師会副会長
仙寿院聖徒団団長

芝崎 惠應

〒〇二六〇〇二二
岩手県金石市大只越町二一九一
TEL〇一九三二二二二五六
FAX〇一九三二二二二五〇

日蓮宗靈断師会靈断院副院長
妙福寺聖徒団団長

野澤 壯監

東日本大震災等種々災害被災地被災者の復興を心よりお祈り申し上げますと共に全国聖徒団の法運隆昌をお祈りいたします
〒三三九一三三
栃木県さくら市馬場一〇八一

日蓮宗靈断師会代表者会議議長
実相寺聖徒団団長

松永 慈弘

〒三三二一〇〇四
埼玉県川口市領家二一四一
TEL〇四八二二二四五六六
FAX〇四八二二二二六八〇七

日蓮宗靈断師会本部長
本成寺聖徒団団長

天野 行淳

〒四六五〇〇一四
愛知県名古屋市中区上菅一三〇三
TEL〇五二七七七一七四七四
FAX〇五二七七七一七五七二

青森県聞法寺聖徒団

住職 工藤 堯幸 副住職 工藤 堯慎
護持会長 最上 一
総代 宮田 博光 木浪 達義
信令会長 最上 誠規 副会長 松山 渉
専務部長 掛村 隆二
外信徒一同

〒三〇三〇一四〇三
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館字田五二二
TEL〇一七四二二五二七二二
FAX〇一七四二二五二六〇七

法華寺聖徒団団長

阿部 是秀

靈断師 阿部 是眞
靈断師 菊池 是宏
靈断師 東 是宏

〒〇二八〇三〇四
岩手県遠野市宮守町下宮守三一六九一
TEL〇一九八六七三二六六
FAX〇一九八六七二二二七
『心といのちの相談所』
被災者一人一人の心の復活を祈りつづけております

新潟県靈断師会会長(理事)
本妙寺聖徒団団長

小林 義明

〒九五九二〇二二
新潟県阿賀野市中央町一三一一
TEL〇二五〇一六三二八九六二
FAX〇二五〇一六二二二五〇二

長栄寺聖徒団団長

光枝 海元

東京都靈断師会会長(理事)

光枝 浩生

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三一四
TEL〇四九九二一五〇二六八
FAX〇四九九二一五〇二一一

本妙寺聖徒団団長

村口 泰慈

〒七九九一三三二
愛媛県西条市国安四二
TEL〇八九八一六六四五〇九
FAX〇八九八一六六六一六〇

妙法寺聖徒団団長

牛居 一英

〒五四六〇〇四二
大阪府大阪市東住吉区西今川二二二四
TEL〇六一六七〇二二二二四
FAX〇六一六七〇二二二二〇

岐阜県靈断師会会長(理事)
美濃常唱寺聖徒団団長

阪口 慈幸

〒五〇一三三三三
岐阜県美濃市千畝町二七三八二
TEL〇五七五二二二二二四三〇
FAX兼用

日蓮宗霊断師会副本部長・聖徒部長
妙法寺聖徒团团長

蔵本 知宏

〒六九八〇〇〇二
島根県益田市幸町一―一七
TEL〇八五六―二二―三〇二六
FAX〇八五六―二二―三〇四八

日蓮宗霊断師会総務部長
照恵寺聖徒团团長

品田 祥皓

〒〇五五〇一〇〇四
北海道沙流郡平取町柴雲古津二―二―一七
TEL〇一四五七―二二―三二二七
FAX〇一四五七―二二―三二七九

日蓮宗霊断師会教務部長
妙親寺聖徒团团長

廣田 学良

〒八七〇〇八三四
大分県大分市上野丘西五―一五
TEL〇九七―五四五―〇七〇八
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教宣部長

松本 恵昌

知見会信行寺聖徒团团長
和歌山県和歌市杭ノ瀬五六―一―一五
TEL・FAX〇七三―四七―一八二五二
知見会海禅院聖徒团团長
和歌山県和歌山市和歌浦中三―四―一八
(顕彰会事務局)
TEL〇七三―四四七―一八九〇
FAX〇七三―四九九―四九九六

日蓮宗霊断師会霊断院教学部長
顕本寺聖徒团团長

小泉 輝泰

〒二九五〇〇〇二
千葉県南房総市千倉川合六九〇―一
TEL〇四七〇―四四―一〇六二
FAX〇四七〇―四四―一五二四

日蓮宗霊断師会霊断院霊断部長
妙泉寺聖徒团团長

石黒 泰良

毎月、自坊にて「霊断塾」を開催しております。
霊断布教に燃えるあなたをお待ちしております。
詳細は、お問い合わせ下さい。
〒四六一〇〇〇五
愛知県名古屋市中区東横二―一六―四三
TEL〇五二―九三―一八四九〇
FAX〇五二―九三―一八四九一

島根県霊断師会

会長 堀江 泰誠
副会長 新間 信應
河瀬 真承
梅木 功健
文谷 孝順
事務局 文谷 一
会 員 同

日蓮宗青森県霊断師会

会長 飛鳥 玄龍
副会長 工藤 泰輝 幹事長 對馬 央丈
総務担当 川上 洋行 霊断担当 工藤 堯慎
庶務担当 葛原 圭静 伝道担当 横山 秀悠
会計担当 木立 智大
通信員 山崎 随祥 山田 瀧仙
顧問 工藤 堯幸
小野 泰幹
会員三十四名。

真成寺聖徒团团長

谷川 寛俊

副团长
谷川 寛敬
〒九三七〇八六七
富山県魚津市真成寺町四―一六
TEL〇七六五―二二―二六八
FAX〇七六五―二二―二六八

神奈川県霊断師会会長(常任理事)
本典寺聖徒团团長

戸田 教栄

〒二五六〇八二六
神奈川県小田原市酒匂三―一―一七
TEL〇四六五―四七―四八一三
FAX〇四六五―四九―三三三二

宮・鹿・沖霊断師会

顧問 吉田 海心 会計 吉良 貴徳
監事 片寄 智雄 会 員 白水 裕子
会長 吉田 静正 海野 資子
事務局 吉田 憲由 片寄 智康

日蓮宗事務参与
本東寺聖徒团团長

吉田 海心

日蓮宗霊断師会九州教区長(常任理事)
吉田 静正
〒八八二〇〇六二
宮崎県延岡市松山町一―三三
TEL〇九八二―三三―三八二七
FAX〇九八二―三三―八七九〇

大分県霊断師会

会長 廣田 学良 会 員 建 栄子
副会長 飯盛 義教 会 員 三ヶ尻りつ子
監事 杉本 顕誠 会 員 三ヶ尻和生
監事 三ヶ尻学生 会 員 杉本 尚子
事務局 後藤 正軌 会 員 廣田 祥子
会 員 建 光行 会 員 廣田 千城

圓融寺聖徒团团長

山口 忠信

〒六七五―一三〇二
兵庫県加西市北条町栗田三三三八
TEL〇七九〇―四二―二二一八
FAX〇七九〇―四二―〇三九七

三重県霊断師会会長(理事)
追分教会聖徒团团長

高鍋 鳳憲

〒五二〇〇八八二
三重県四日市市追分二―一五―二
TEL〇五九―三四六―三六七七
FAX兼用

湖北随一法華道場
常昌寺聖徒团团長

早瀬 光玄

〒五二六〇八四一
滋賀県長浜市新栄町四〇二
TEL〇七四九―六二―四四九二
FAX兼用

日蓮宗霊断師会総務部庶務財務課長
長栄寺聖徒团

光枝 妙珠

〒一〇〇〇四〇二
東京都新島村本村三―一―一四
TEL〇四九九―二五―一〇一六八
FAX〇四九九―二五―一〇一一一

日蓮宗霊断師会総務部組織課長
常唱寺聖徒团团長

阪口 映徳

〒五〇一―三三三四
岐阜県美濃市千畝町二七三八―二
TEL〇五七五―三三―一四三〇
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教務部指導課長
妙法寺番神聖徒团团長

新間 信應

〒六九〇―二四〇四
島根県雲南市三刀屋町三刀屋一―一六九
TEL〇八五四―四四―一三六五七
FAX〇八五四―四四―一三六六六

日蓮宗霊断師会教務部講習課長
蓮正寺聖徒团团長

飯盛 義教

〒八七九―一五五〇四
大分県由布市挾間町下市五三三六
TEL〇九七―五八三―一〇五四六
FAX〇九七―五八三―一〇六九八

日蓮宗霊断師会聖徒部事業課長
長榮山妙福寺聖徒团团長

大森 映孝

〒三三九―二二二一
栃木県塩谷郡高根沢町亀梨五一―四
TEL〇二八―六七六―二二四七
FAX兼用

日蓮宗霊断師会聖徒部布教課長
七面山道円寺(芦屋の七面様)聖徒团团長

飛鳥 玄龍

〒〇三八―三二二一
青森県つがる市木造川除栄盛七
TEL〇一七三―四二―三六四九
FAX兼用

日蓮宗霊断師会教宣部教宣課長
妙宣寺聖徒团团長

蘆田 恵教

〒六四一―〇〇四二
和歌山県和歌山市新堀東二―一―一八
TEL〇七三―四二―二七九六八
FAX〇七三―四二―二九〇五

日蓮宗霊断師会教宣部出版課長
龍雲寺聖徒团团長

吉田 憲由

教誌・よろこびを読んで
一緒に信仰を学びましょう!
〒八八九―二二〇
宮崎県児湯郡都農町川北三七二〇



申年も 家族みんなでお題目
いつも「教誌よろこび」を愛読いただき、ありがとうございます

みなさまからの投稿を募集しています
〈体験談・感想文・聖徒さん紹介・全国のよろこびちゃん等〉どしどしお寄せください

日蓮宗霊断師会 教宣部



第五十二回 日蓮大聖人の歩まれた道

諸国への遊学(その五)

靈断院教学部長

小泉 輝泰

「良観、道隆、悲願聖人等が極楽寺、建長寺、寿福寺、普門寺等を立てて、叡山の円頓大戒を蔑如するがごとし。これは第一には破僧罪也」
(破良観等御書)

三井寺にて天台教義はもろろんのこと、台密、東密の両奥義にまで通ずる膨大な蔵書を閲覧した蓮長は、続いて京都泉涌の来迎院に赴いたとされています。

この辺にまでなると、もはや確たる資料には乏しく、確かな足取りやその目的などはわかりません。蓮長が来迎院を訪れた当時は、宋より来朝した蘭溪道隆禅師が滞在していた時期と重なります。道隆は日本に臨済禅を弘めた高名な禅師で、北条氏の請いに応じて鎌倉建長寺の開山ともなった高僧です。おそらく蓮長も、来迎院にて道隆の講義を聴聞したことでしょう。



冒頭の御文書に見られるように、後に大聖人の記された様々な御書には、極楽寺良観と並んでこの道隆の名が随所に見受けられます。そこでは禅僧の代表格として、伝教大師の伝法より法華経を正意としてきた日本の正法を、誤った教義をもって歪めてしまった悪僧として上げられているのです。大聖人は決して憶測で物事を非難するようなお方ではありませんので、来迎院にて道隆の講義をかなり深く学ばれたことが推測されるのです。

道隆の招来こそありましたが、そもそも来迎院は弘法大師に所縁の深い真言宗の由緒ある寺院です。寺伝によれば、来迎院は大同元(八〇六)年、弘法大師入唐の折に感得した三宝荒神を奉安し開創したとされています。それから約四〇〇年の後、健保六(一一一八)年に泉涌寺の長老であった月翁智鏡が、藤原氏の篤い帰依を受けて伽藍を整備し、泉涌寺の子院と定めました。蘭溪道隆も入宋していた月翁智鏡との出会いによって、来朝の決意をしたと言われ

ています。

親寺となる泉涌寺も、真言宗泉涌寺派の総本山として知られ、鎌倉時代の後堀河天皇や四条天皇、また江戸時代の後水尾天皇より幕末に至るまでの歴代天皇の陵墓があり、皇室の菩提寺として「御寺泉涌寺」と呼ばれるほどの権勢を誇った真言宗の大寺院でした。

叡山教義と同様に四宗兼学を掲げてはいましたが、弘法大師を開山と仰ぐその流れにより、東密(真言密教)に関する膨大な教書が格護されていたとも言われています。蓮長はこの来迎院にて、道隆より臨済禅の教義を学ぶと共に、唐や宋より招来された真言密教の奥義に触れる書物の閲覧に至ったことでしょう。

身延大会に行ってきました！

結婚五十周年の記念に合わせてお参りました。今年の献香献花献灯がとても美しく感じました。

何回来ても感動する大会です。実は昔、大会で献香をさせていただいたことがあるのです。今日はその時のことを思い出しました。また建先生(本会副会長)の話がすばらしく、感動で涙が出ました。



北海道 妙壽寺聖徒団 武田 栄信さん・正子さん

よろこび歳時記

十月十日、名古屋市東区本覚寺聖徒団(伊藤守温団長)において、秋の音楽祭『ゆうべのつどい』が開催された。



元口笛世界チャンピオンの演奏 柴田晶子さん

当日は百名に迫る参加者で盛り上がりを見せた。九回目を迎えるこの行事は、団長の「近隣の人々の輪を深めたい。」という思いから聖徒だけでなく、誰でも参加が可能なものである。

本年は口笛の世界チャンピオンになった経験のある口笛奏者を招き、本堂に澄み渡る口笛の音色に参加者一同、心地よい時間を過ごしていた。また、境内には手作りパンやお菓子の飲食ブース、フリーマーケットや子供ゲームコーナーなど多くの出店があり、賑わいを見せた。主催をした伊藤団長は、「回数を重ねるごとに広く大勢の方が足を運

ほっと絵手紙募集！



全国の聖徒の皆さんのホッと心温まるホッとするような「ほっと絵手紙」を募集いたします。皆さんの絵手紙を九段事務所までお送り下さい。よろこびに掲載致します。どしどし絵手紙お待ちしております。

宮崎県の大橋厚子さんからの絵手紙です。

全国の皆さんにとって、心温やかに過ごせる一年でありますように...

宛先 〒101-0051 東京都千代田区神田保町三二五二二 九段中央ビル七〇二 日蓮宗靈断師会九段事務所



美しい音色に耳を傾ける聖徒

つながる 通信員！

教誌よろこびを共に作成している全国の通信員を毎月紹介していきます。



No.9 和歌山県 守法慶隆 養源寺聖徒団

和歌山といえば梅干しとみかん。私の町はみかんの郷です。和歌山は豊かな自然に囲まれ、サッカーは弱いですが、箕島、智弁和歌山と甲子園にはめっぽう強い！この地の聖徒団のこと、聖徒さんのことを伝えていきます！

よろこび法話

生きる意味とは しゃばせかい ～この娑婆世界に生れて～



島根県浜田市
龍泉寺聖徒団 団長
菅部 一真

私は今年で五十八歳、島根県浜田市で龍泉寺というお寺の住職をつとめています。子供の頃はそんな自分の将来は想像していませんでした。縁あって入寺したお寺には、寺庭婦人とその母親、そして今は都会に出た大学三年生と大学一年生の息子、地元の高校に通う二年生の娘がいます。お寺の住職として、また一家の主としての諸々の責任重大です。生きるという事は一生懸命なものです。これまでの自分の人生を振り返ると、起こったことのすべてが今に繋がっているように思えます。ひよっとしたら前世からかもしれ

ません。

私は福岡県のお寺に、兄弟三人の末っ子としてこの世に生を授かりました。お祖師様のお仏飯を頂き、お檀家さんに可愛がられて育ちましたが、自由気ままに生きられないお坊さんにはなりたくありませんでした。長男である兄が、大学進学にあたりお寺を継ぐこととなり、将来の自由が与えられたのですが、最初に志望大学の受験に失敗します。何とか合格した大学に通うため故郷を離れて上京し、父親から仕送りをしてもらいながら四年間の学生生活を過ごし、東京で会社に就職をしました。

やっと経済的にも親から自立し、社会人として歩み始めるのですが、会社の一月月の研修の後に決定されたのは入社の際に望んだ部門ではなく、不本意な配属先でした。そして営業での得意先回り、休日出勤や夜遅くまでの残業、また得意先の接待や苦情処理など。それでも二十代の青年時代をサラリーマンとして東京で過ごしたことは今では懐かしい思い出です。三十歳になった時、半年半務めた会社を辞めて向かった先は、お



積迦様の国インドでした。ガイドブック片手にリュックを担ぎ、三ヶ月間、仏蹟をはじめ北から南までインドの各地を歩きました。日本に帰ってきて、師僧となる父の下で得度し、大本山池上本門寺で随生として宗門の大学に通いながら修行をしました。二年目の夏、父が病気で急逝したことにやりやむを得ず故郷のお寺に戻り、住職となった兄を手伝うことになりました。そして、三年目の三十五歳の時に浜田の龍泉寺への話があり、平成五年十月にお会式の法要で入寺式を行って頂き住職となったのです。大きな責任を感じ、何もわかんないままに始まった僧侶としての生活。お寺の整備や日々の法務に加え、日蓮宗青年会の活動、九識靈断法の相伝と本部への出仕、布教院での研鑽、島根県宗務所の仕事など、かれこれ二十三年目になります。「そんなあなたが僧侶となり、お寺の住職として行なったことを一つだけ述べなさい」と言われたら、私は何を語るのでしょうか。

それは、一人の未信徒の方のいろいろな悩みの相談にのり、毎月の盛運祈願会をはじめ、お寺の行事に徐々に参加して頂くようになり、身延大会の参加をはじめ、大聖人の靈蹟を訪ね、日蓮宗に改宗してお寺を支える檀家になって頂き、一緒にお題目を唱えて仏道を歩んでいることです。

「苦をば苦と悟り、樂をば樂とひらき、苦樂共に思い合せて南無妙法蓮華經とうち唱えさせ給え、これに自受法樂にあらずや、いよいよ強盛の信力を致し給え」とお示し下さっています。たとえ数えきれない失敗を重ね、自分自身が無力であっても、素直にお題目の救いを信じ、身近な誰かの支えとなつて、共に未来永遠の精進を誓うことこそ、今を生きる意味であり本当のよろこびなのです。

本誌イラスト 小川けんいち

全国のよろこびちゃん vol. 25



岩手県
仙寿院聖徒団（神奈川県在住）
平成26年11月20日生
宮内 葵ちゃん

色々なことに興味を持って、笑顔が素敵な優しい子に育ってほしいと思います。

全国のよろこびちゃん vol. 24



滋賀県米原市
常唱寺聖徒団
平成23年11月3日生
増田 安南ちゃん
平成25年10月17日生
増田 悠真くん

安南は毎日の家族のお経を聞いて3才から寶塔偈「しきょうなんじー…」を最後まで覚え一緒に唱えています。悠真は1才から木鉦を叩き「ほうれんげきょう…」と繰り返しています。このまま元気に育ってください。

全国のよろこびちゃんを募集しています！

砥森山
法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣莊嚴具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

利生寺

日蓮宗靈断師会会長
利生寺聖徒団 団長
末吉 観道
副団長
末吉 正道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗靈断師会 副会長
日蓮宗宗議員
正蓮寺聖徒団 団長
大塩 孝信

〒290-0151 千葉県原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288